

みうらトーク&トーク 平成23年度第2回

日 時 平成 23 年 8 月 25 日 (木)
10 時 00 分～11 時 00 分

参加者 神奈川県立三浦臨海高校生徒会 4人

テーマ 「三崎口駅より三浦臨海高等学校までの通学路について」「地震等の災害対策について」ほか



＜意見交換（概要）＞

市長 今日、臨海高校から三崎口駅までの通学路についてを一つのテーマとしていただいている、日ごろ感じていることなどを教えてください。

生徒 一昨年も臨海高校生徒会でトーク＆トークに参加しましたが、その時にも道路の照明をつけてほしい等ということで通学路についてテーマが出ていました。その時の回答として、この道路は県道だから県に意見を伝えるということで終わっていましたが、その後どうなっているのか教えてください。

市長 国道 134 号線は 3 桁の国道ですが、3 桁の国道は県が管理することになっています。1 桁や 2 桁の国道は国が直轄で管理する仕組みになっています。その他にも県道や三浦市の道路である市道という区分けがされています。

134号線は県の管理なので、草木が出ている、穴が空いているなど、危険なことがあると、県に対応してもらっています。三浦市道であれば、三浦市が直接対応するということになっています。

2年前にいただいたご要望は、具体的にこの場所に照明が欲しいという話にまではなっていないので、具体的に対応していなかったと思います。もう一度前回のお話を確認して、精査して対応するようにします。それ以後に何かご意見・ご提案があったらもう一度教えてもらえますか。

生徒 通学路については、以上です。

市長 ではきちんと確認して、県に伝えたり、三浦市でできることがあればやるということで、その結果を改めて職員から回答させます。

生徒 わかりました。お願いします。

市長 他に何かお気づきの点はありますか。最近、道路にゴミがあるという話は聞かないですね。ここが狭いとか、ここが汚いと思う箇所はありますか。

生徒 汚いとはそんなに思わないですが、道が狭いというのは思ったことがあります。

市長 坂を登りきったところのちょうど崖になっているところから狭くなりますよね。それは通学路だからきちんと県に話をしましょう。
今でも生徒会で通学路の掃除をやってもらっていますよね。あの時はみんなで袋を持って歩いていますが、拾ったゴミはどうしていますか。

生徒 そういう活動で集めたゴミというのは分別しなくても持って行ってくれるという事で、学校に持ち帰っています。

市長 通学路を自分たちの手で綺麗にさせていただくということはとても大事なことです。自分たちももちろん気持ちいいだろうけど、市民の方たちや沿線を通る人たちが臨海高校の生徒さんが袋を持ってゴミを拾いながら歩いている姿を見て、非常に感銘を受けています。
三崎口の駅前、観光客の皆さんもたくさん来ますし、何万人の人が乗り降りをしてゴミが散乱していることが比較的多いです。そういったときに京急さん、三浦市、近隣にお住まいの方たちが定期的に掃除の活動をしたときに臨海高校の生徒さんも参加してくれています。そういう活動もぜひ引き続きやっていただければと思います。これは私からの要望ですので、生徒会の活動の中に書いておいてください。
では通学路についてはこれでよろしいでしょうか。それでは次に、「地震等の災害対策」ということでお話をいただいています。非常にホットな話題です。何か感じていることはありますか。

生徒 三浦市には活断層があって、地震が来るかもしれないということが騒がれている中で、情報がいち早く伝わるシステムがあるといいなと思いました。

市長 3 月 11 日は、14 時 46 分というと、学校にいたり、学校から帰る時間でしたか。

生徒 そうです。

市長 三浦市には防災行政無線というものがあり、この近くにもあります。そのほかに消防車や市の広報車が市全域を走ってまわりました。学校では津波警報が出たときに屋上に逃げたりしたのでしょうか。

生徒 先生たちが誘導してくれました。津波が来るか分からない状況で、一番高い 4 階まで全生徒が避難しました。

市長 臨海高校の土地は低地にあるので 4 階に上がってくれたというのは良かったです。ここから避難するとなると津波の場合は初声中学校ですが、高校の 4 階なら高さかなりあります。

職員 地盤が 2.5 メートル、約 14 メートル以上になると思います。

市長 三浦市でも初声中学校や上宮田小学校が避難所になりましたが 2,100 人位の方が避難して一晩明かされたりもしましたが、皆さんも帰られなかったのですか。

生徒 電車が復旧していなかったこともあって、翌朝まで学校にいました。

市長 災害対策について皆さんも 3 月 11 日から 12 日にかけて経験されたと思いますが、何が大切だと思いましたか。

生徒 正確な情報を早いうちから手に入れるということ、避難場所をしっかり知っておくということが必要だと思いました。
あと、津波の心配があるので高い建物が近くにあったらいいなとも思います。

生徒 私も生徒会室にいて作業をしていたときに地震に遭いました。私は親が車で迎えに来てくれて夜中の 12 時くらいには帰れました。
そこで感じたのが、学校なので県の問題だと思いますが、学校に残っていた生徒数は 30 人ほどですごく少なかったのにもかかわらず、災害に対する備蓄、例えば毛布や布団の数や食糧が全然足りませんでした。そういう状況で、市で十分に余っていれば支援してもらおうような対応をしていただくといいなと思いました。

市長 三浦市は避難所の備蓄は比較的しっかりとあります。今回は発電の機械が動かないというトラブルがありましたが、建設業界の皆さんや消防団の皆さんがすぐに動いてくださって避難所になっている場所はすぐに対応ができました。
食糧の備蓄はもちろんありますが、完璧な数ではありません。今回の地震では被

災地ではなかったのでそれほどのニーズがなく、難を逃れました。

高校からお伝えいただく以外に市から個別には動けないので、学校の管理側で備蓄の品物は全部揃えてもらわないといけないかもしれませんね。学校側で一程度備えをしてもらうように生徒会から要望してはどうでしょうか。いつ何が起きるか分かりませんから。市から何か必要だというものがあれば、市のルートで運ぶことはできますが、問題は情報伝達ですね。

臨海高校で被災地支援として何かやったこととかありますか。

生徒 平塚農業高校初声分校の生徒会と協力して三崎口駅で義援金の募集を行って、それを神奈川新聞さんに持っていきました。

市長 地震などの災害対策について生徒会で何か話し合いをもちましたか。

生徒 学校で地震にあったのが 2 人だけで、生徒会の残りの 10 数人は自宅やアルバイト先で被害にあったので、特別な話はしていません。

市長 三浦市でも地震や津波の災害対策は大きなテーマなので鋭意準備をしているところです。市内のあらゆるところに海拔表示をするということをするすでに取り組んでいます。市の職員が被災地の応援にも行っています。職員の話を聞くと、まず何をしなくてはいけないかという、「まず命を守る」ということを言っていました。貯金通帳を持っていくとか、犬を連れていくとかいうことよりも、まずは自分の命を守るということを優先しなくてはいけないということでした。そのためにはどの避難路を通っていくかということを町の人たちが自分たちで認識しないといけません。市が「ここは避難路」と指定するのは簡単なことですが、町の中できちんと話し合いをしてもらって、避難路の指定というのを市にお伝えしていただくという逆の仕組みで取り組んでいます。

災害対策の他にも構いませんので、他に何かございますか。

生徒 学校で、三浦市の特産品を推していこうということで、特産品とかけたキャラクターを作って、三浦の知名度を上げたいと思っています。

よろしければ特産品を教えていただいて、キャラクターの原案を学校で集めてみたいという考えがありますが、いかがでしょうか。

市長 いいですね。彦根市の「ひこにゃん」のように、多くの市町村で「ゆるキャラ」といってマスコットキャラクターを作りだして町を売り出そうとしています。三浦市は明治大学と関係が深いのですが、明治大学で作ってくれたマスコットが

あります。マグオ君というマグロの格好をした着ぐるみです。イベントがあると登場してもらっています。

公式キャラクターというのはありませんが、市内にある臨海高校の生徒さんたちが考えてくれたものであれば、十分採用したいし、良い話だと思います。三浦市には特産品が非常に多く、野菜や魚などがあります。マグロの水揚げ量が全国でも有数の魚市場があるので、魚でいうとマグロでしょうか。あとは松輪サバというサバが特許庁という国の機関から地域ブランドに指定されています。野菜だったらダイコン、スイカ、キャベツ、カボチャ、トウガンとたくさんあります。ぜひ考えていただいて、市にご提言いただけると非常にありがたいです。

神奈川の名産 100 選があるので、サンプルを提供するようにします。

生徒 あと、話は戻って災害についてですが、海沿いに高速道路のような高さのある道路、橋のようなものを作ってはどうかと思います。理由は、水の流れているところに柱があると水圧が落ちるからです。なので、柱の多い高速道路があると津波の勢いも減らせますし、避難にも利用できると考えましたが、いかがでしょうか。

市長 案としては良いかもしれませんが、難しいでしょうね。
高速道路を造るのは膨大な労力と時間とお金がかかります。
必要な道路であれば積極的にやるべきだと思いますが、三浦の場合は海沿いのスペースや景観の問題から難しいかもしれません。検討するには難しいかもしれませんが、案として受け取っておきます。

生徒 あと、色々な人と話をする中での経験ですが、三浦市は南北の道路しかなくて、東西に繋がる道路が少ないという意見を聞きます。例えばバスにしても、ここから東の方に行こうとすると三崎をまわっていかないと行けないですし。

市長 ただ実は三浦市は南北の道路も整備されていません。南北の道路も完璧ではないので、東西の道路にまで手が回っていないというのが現状です。言われたとおりですので、これからも意識してやらせてもらいます。
まず今は都心から三浦に来て、スムーズに帰れる、もしくは三浦市に住んでもらうためにアクセスを良くしようということを重点的にやっています。
職員からは何かありますか。

職員 先ほどお話を伺った中で、市への応援態勢については、また学校側とぜひ詰めていかなければいけないなと考えています。

職員 先ほどの照明の件ですが、現在、街路灯が震災の関係の節電の影響で消えています。見ていただくと、それについてご案内している札がついています。
今回、県に確認をしたところ、街路灯については秋以降電力需要が減るので再点灯するか検討するということでした。実際には徐々に点けていくということですし、消すときも全部いっぺんに消すのではなく交差点やカーブが急で危ないところや、地元の方からのご要望があったところは現場を確認しながら点けているということです。道路の照明については秋以降に戻る可能性が高いということだけお伝えしておきます。

市長 では他に何かありますか。

生徒 最後にもうひとついいでしょうか。三浦市でお金を落としてもらうことを考えると、テーマパークが少ないなと思います。油壺マリンパークが有名ですが、そこしか思い当たらず、あとは観光地が少しある程度で勢いがありません。なので、幅広い年齢層の人が楽しめる施設があるといいなと思います。

市長 今は年配の人が食を楽しみに来るというイメージなのでしょうか。

生徒 それもあります。若い人を集めるには子どもの視線を向けさせないといけないので、うらりの近くにも子どもが楽しめるような施設があればいいと思います。

市長 現在港の再構築をするにあたって、「魅力ある港作り」という計画がありますが、そこには子どもが遊ぶ場所が入っておらず、大人が買い物をする場所や食事のできる場所というコンセプトしかありません。良いヒントかもしれません。ありがとうございます。

職員 それでは時間となりましたので、このあたりで終了させていただきます。
本日はありがとうございました。

※ 公表については了承を得ております。